

# わたしの聖戦

女性が働くということ

医学ジャーナリスト・医学博士

植田美津恵

連  
238  
載

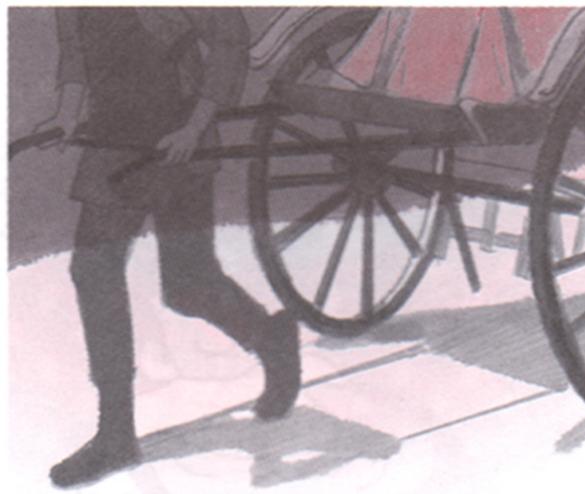
## 「無法松の一生」を観て

先日、1943年公開の「無法松の一生」がNHKで放送された。戦前の、相当地に昔のモノクロ映画だが、デジタルリマスターのおかげで、その古さはほとんど気にならなかった。

「無法松の一生」は北九州小倉を舞台に、車引きを生業とする松五郎を描いたものである。

無法松と呼ばれる松五郎は、博打と喧嘩で皆に迷惑をかけながらも、その無垢な心とキップの良さで多くの人に好かれたりもしている。ある日、ケガで歩けず泣いている敏雄という子どもと出会ったことから、松五郎の生活は徐々に変化をしていく。敏雄の父親は陸軍大尉・吉岡小太郎であり、

鼓を披露し、祭りを盛り上げる。流れ打ち、勇み駒、暴れ打ちと山車の上で太鼓を叩く場面は、この映画のクライマックスでもある。一方で、良子夫人への思慕を胸に秘めつつ、そんな自分を責めるように酒に溺れていく松五郎。ある冬の



日、松五郎は雪の中で倒れ、鼓を披露し、祭りを盛り上げる。流れ打ち、勇み駒、暴れ打ちと山車の上で太鼓を叩く場面は、この映画のクライマックスでもある。一方で、良子夫人への思慕を胸に秘めつつ、そんな自分を責めるように酒に溺れていく松五郎。ある冬の

鼓を披露し、祭りを盛り上げる。流れ打ち、勇み駒、暴れ打ちと山車の上で太鼓を叩く場面は、この映画のクライマックスでもある。一方で、良子夫人への思慕を胸に秘めつつ、そんな自分を責めるように酒に溺れていく松五郎。ある冬の

鼓を披露し、祭りを盛り上げる。流れ打ち、勇み駒、暴れ打ちと山車の上で太鼓を叩く場面は、この映画のクライマックスでもある。一方で、良子夫人への思慕を胸に秘めつつ、そんな自分を責めるように酒に溺れていく松五郎。ある冬の

鼓を披露し、祭りを盛り上げる。流れ打ち、勇み駒、暴れ打ちと山車の上で太鼓を叩く場面は、この映画のクライマックスでもある。一方で、良子夫人への思慕を胸に秘めつつ、そんな自分を責めるように酒に溺れていく松五郎。ある冬の

鼓を披露し、祭りを盛り上げる。流れ打ち、勇み駒、暴れ打ちと山車の上で太鼓を叩く場面は、この映画のクライマックスでもある。一方で、良子夫人への思慕を胸に秘めつつ、そんな自分を責めるように酒に溺れていく松五郎。ある冬の

鼓を披露し、祭りを盛り上げる。流れ打ち、勇み駒、暴れ打ちと山車の上で太鼓を叩く場面は、この映画のクライマックスでもある。一方で、良子夫人への思慕を胸に秘めつつ、そんな自分を責めるように酒に溺れていく松五郎。ある冬の

鼓を披露し、祭りを盛り上げる。流れ打ち、勇み駒、暴れ打ちと山車の上で太鼓を叩く場面は、この映画のクライマックスでもある。一方で、良子夫人への思慕を胸に秘めつつ、そんな自分を責めるように酒に溺れていく松五郎。ある冬の